

工業用水道事業会計決算状況

317万円の黒字

平成15年度の料金収入は、配水量が前年度より34%増えたことにより1、873万円となりました。
 支出では、経費節減によって営業費用が0.8%削減されています。この結果、317万円の黒字となりましたが、この利益は借入金返済のために積み立てました。

工業用水道事業の目的

本事業は、二井田地区の工業団地に立地した企業へ、良質な工業用水を安価に供給することで、企業に安定した経営をしていただき、地域経済の発展と雇用の拡大に結び付けることを目的に、平成9年度から実施しています。

工業用水道とは、主に製造業の企業に対し、製造活動に使用する水を供給するために、自治体が独自に行っている事業です。

秋田県内では、県の企業局が工業用水道事業を行っていますが、市町村では本市しか実施していません。

工業用水道が企業立地を促進

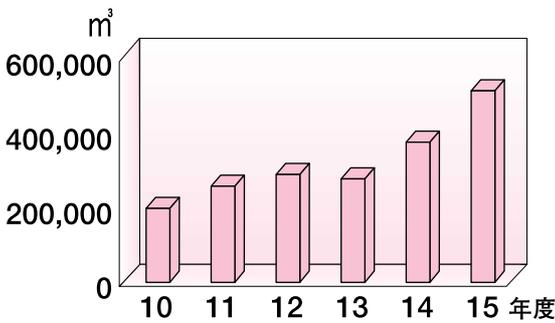
全国的に見ると、工業用水道事業で供給している水は、河川の表流水やダムの水などが大半を占めています。本市の場合には、極めて良質で豊富な地下水の水源を2

力所確保し、安価に安定して供給できる体制を整えたことから、医薬品製造業や食品加工業などの企業に立地いただけただけのものと考えています。これからも、安定した工業用水道を二井田地区工業団地の企業に供給することで、同地区団地への企業立地を推進すると共に、地域経済の発展と雇用の拡大をバックアップし続けます。

平成15年度の給水状況

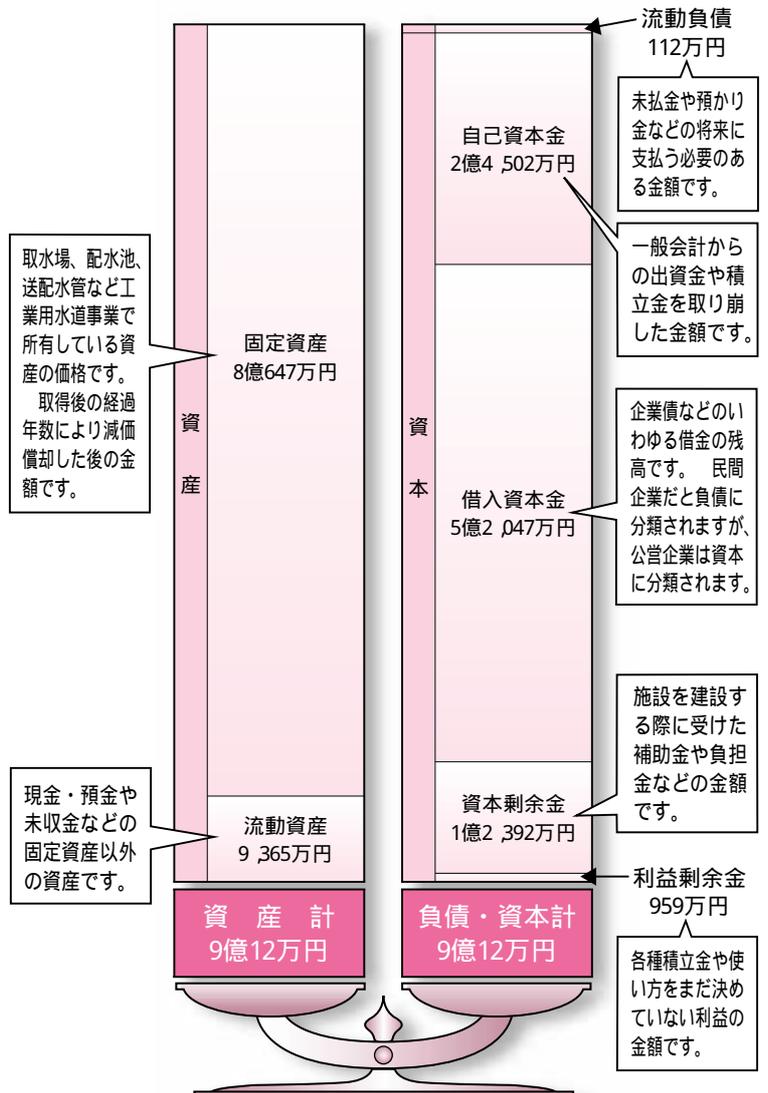
給水事業所数	17事業所
配水能力	5,300 ^m /日
年間総配水量	509,731 ^m
1日最大配水量	2,398 ^m
1日平均配水量	1,393 ^m

年間総配水量の推移



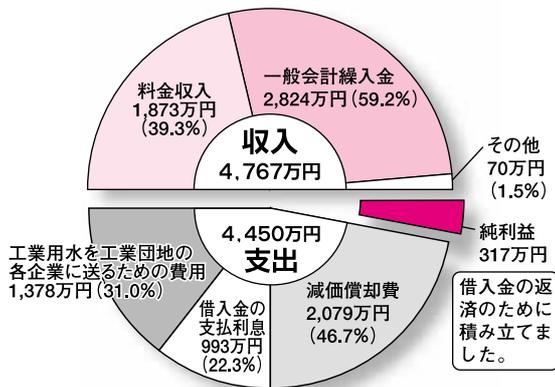
平成15年度大館市工業用水道事業貸借対照表

(平成16年3月31日現在)



収益的収支 (消費税抜き)

<工業用水道事業の運営に関する収支>



資本的収支 (消費税込み)

<工業用水道施設の整備に関する収支>

